

2023 年度  
事業報告書



社会福祉法人ぶったあ福社会

## I 全体総括

2020年の1月15日に国内で新型コロナウイルスの感染が初めて確認され、変異を繰り返しながらこの4年間私達を苦しめてきました。感染の広がりを防ぐため、「三密（密閉、密集、密接）を避ける」「外出を避ける」「マスクの着用」等々が求められ、コロナの流行と共に私達の生活習慣が様変わりしました。

障害のある人にとって、人との接触を避けなければならないことは、日常生活を送る上で必要な介護者を奪われることにもなりかねません。コロナにかからないよう、支援する側も受ける側も細心の注意をしながらの関係になってしまい、そこには、遠慮や自己制限もあったのではないかと思います。制限と言えば、「ぶったあ」のグループホームでもクラスターが発生し、支援に入れる職員も限られ、利用者の日常生活を維持するのに苦慮しました。

3年目の2023年5月に、感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類に変更されました。その後は、個々にコロナにかかりましたが重症化せずにすんでいました。

なんとなくコロナからの重圧から解放されてきた2024年の元旦、今度は能登半島で最大震度7の大きな地震がおこりました。建物倒壊や津波、大規模火災などで甚大な被害があり、多くの方々が亡くなりました。必ずくると言われている南海トラフ地震に限らず、地震等の災害はいつどこで起こるかわかりません。そのための備えは必要なこともわかっていますが、災害報道を見るたびに、一刻でも早く救助に入れる強力な組織が必要ではないかと思ってしまう。

2024年度から、障害福祉サービスにおいてはBCP(業務継続計画)の義務化が始まります。災害や感染症の大流行、テロ事件など、不測の事態が発生した際にも重要な事業を中断させない、あるいは早期復旧を図るための事業継続計画です。

災害や感染症は、障害者に対する差別や虐待に繋がりがかねないところがあります。

何がおこっても助け合える関係は、日頃からの付き合いの延長にあります。人との繋がりが大切なことは間違いありませんが、日々の問題や仕事だけに追われることのないような余裕が欲しいですね。

2024年4月1日に改正障害者差別解消法が施行され、民間事業者による障害のある人への「合理的配慮の提供」の義務化も始まります。社会にはまだまだバリアがあり、バリアは障がいのある人達の社会参加を遅らせます。誰もが使いやすい場所として、「ぶったあ」も改善して行きたいですね。

運営においては、ここ数年、利用者の減少が続いています。障害者サービスの事業所が増えていることもあるでしょうが、私達自身の宣伝ができていないかも……。原点に戻って、知ってもらうことから始める必要があると思います。

2024年4月1日から、障害福祉サービスの報酬が改定されます。基本報酬が減額され、加算頼みの傾向(事務量が増える)だそうです。運営にどう影響するのかわかりませんが、安心して働ける福祉の世界にしたいですね。

## II 法人

### 1. 役員構成

#### (1) 理事・監事

- ・定数 理事 6 名、監事 2 名
- ・任期 2023 年 6 月の定時評議員会～2025 年 6 月の定時評議員会
- ・理事長 中谷勇一
- ・理事 小南廣之、中村明裕、長濱豊実、藤永憲、中谷秀子
- ・監事 加藤公朗、安藤眞一

#### (2) 評議員

- ・定数 7 名
- ・任期 2021 年 6 月の定時評議員会～2025 年 6 月の定時評議員会
- ・評議員 五百蔵聡、岡田有美、桑名泰広、中谷佳枝、平田國雄、福島幸、松田和義

#### (3) 評議員選任・解任委員

- ・定数 5 名
- ・任期 2021 年 6 月の定時評議員会～2025 年 6 月の定時評議員会
- ・委員 加藤公朗、安藤眞一、上野あけみ、西山満利子、伊郷眞一郎

### 2. 苦情対応関係

- ・苦情解決責任者 中谷勇一
- ・苦情受付担当者 繁田晴美
- ・第三者委員 海部伸雄、安藤眞一

### 3. 理事会・評議員会開催状況

#### (1) 理事会

回	開催日	内 容
第 1 回	2023 年 6 月 15 日	1. 開会挨拶 2. 定数確認 (定款第 9 条規程) 3. 議案内容 第 1 号議案 2022 年度事業報告書の確認 第 2 号議案 2022 年度決算書の確認と監事監査の報告 第 3 号議案 運営規程の改訂の承認 第 4 号議案 新理事、監事の推薦の確認 第 5 号議案 次回評議員会の開催日の確認 その他の報告事項 ・理事長の執行状況報告 (定款第 19 条 3 項)

第2回	2023年 6月28日	1. 議案内容 第1号議案 新理事・新監事の紹介 第2号議案 理事長の選任 新理事長のあいさつ
第3回	2023年 12月1日	1. 議案内容 第1号議案 2023年度当初予算の補正の確認 第2号議案 次回評議員会の日程について その他の報告事項 ・理事長の執行状況報告（定款第19条3項）
第4回	2024年 3月16日	1. 議案内容 第1号議案 今年度の補正予算について 第2号議案 ・来年度の事業計画（案）について ・来年度の当初予算（案）について 第3号議案 相談支援事業について 第4号議案 監事監査の時期について その他の報告事項 ・理事長の執行状況報告（定款第19条3項）

(2) 評議員会

回	開催日	内容
第1回	2023年 6月28日	1. 議案内容 第1号議案 議事録署名人の選出 第2号議案 2022年度事業報告案の承認 第3号議案 2022年度決算案の承認と監事監査の報告 第4号議案 新理事と新監事の承認 その他の報告事項 ・理事長の執行状況報告（定款第19条3項）
第2回	2023年 12月11日	<u>決議の省略</u> 1. 提案事項 ◆議案名 ・2023年度第1次補正予算報告書の承認の件
第3回	2024年 3月27日	1. 議案内容 第1号議案 今年度補正予算の承認 第2号議案 来年度事業計画(案)及び当初予算(案)の承認 その他の報告事項 ・理事長の執行状況報告（定款第19条3項）

#### 4. 研修状況

開催日	開催場所	テーマ	主催者	参加者
2023年 4月2日	神戸市障害者福祉センター	「国連総括所見をふまえた兵庫県→私たちの課題」	障害者問題を考える兵庫県連絡会議	中谷秀子
4月17日	みんなの家(ぶったあ福祉会)	内部研修「障害者への理解と対応」	ぶったあ福祉会 講師山下Ns	全職員
4月20日	オンライン(ぶったあ福祉会)	R5 第1回サビ管連絡会議	淡路自立支援協議会	柳田幸宏
5月14日	新淡路病院3階会議室	グングンセミナー2023	淡路障害者生活支援センター	繁田晴美
5月26日	南あわじ市役所	R5 淡路自立支援協議会基礎研修	淡路自立支援協議会	柳田幸宏
6月8日	グループホームぶったあ	内部研修「障害者への理解と対応」	ぶったあ福祉会 講師山下Ns	グループホーム全職員
6月23日	淡路市しずかホール	安全運転管理者講習	兵庫県自家用自動車協会連合会	高辻芳幸
7月3日	兵庫県民会館	※SST研修会	みらい福祉講習会	繁田晴美
7月3日	洲本市文化体育館会議室	食品衛生責任者養成講習会	淡路市食品衛生協会	保地みちか
7月6日	みんなの家(ぶったあ福祉会)	R5 第1回ぶったあ福祉会虐待防止委員会	ぶったあ福祉会	虐待防止委員
7月6日	オンライン(ぶったあ福祉会)	R5 第2回サビ管連絡会議	淡路自立支援協議会	柳田幸宏
7月26日	南あわじ市広田地区公民館	第9回教育・医療・福祉・健康連携セミナー	淡路障害者生活支援センター	繁田晴美
8月24日	兵庫県洲本総合庁舎	第1回淡路地域障害者雇用・就業支援ネットワーク会議	淡路地域障害者雇用・就業支援センター	柳田幸宏
8月27日	淡路市しずかホール	講演会「発達障害があっても大丈夫～心が軽くなる関わりのコツ～」	兵庫県教職員組合 津名支部 講師森山和泉氏	中谷勇一
8月29日	加古川市総合福祉会館	R5 兵庫県相談支援従事者現任研修	兵庫県社会福祉事業団	繁田晴美
8月29日	オンライン(ぶ	時間外労働の上限規	淡路労働基準監督	伊郷真一郎

	ったあ福祉会)	制等に関する説明会	署	
9月29日	オンライン(ぶ ったあ福祉会)	第2回グングンセ ミナー	淡路障害者支援セ ンター	繫田晴美
10月21日	聖隷淡路病院	聖隷健康講演会 「糖尿病について」	聖隷事業団	中谷秀子
10月31日	淡路市社会福祉 協議会	第1回ほっとかへん ネットたまご会議	市内社会福祉法人 連絡たまご会議	中谷勇一
11月12日		南あわじ市医療的ケ ア児支援講演会	南あわじ市・南あ わじ市医師会	繫田晴美
11月17日	三宮コンベンシ ョンセンター	兵庫県相談支援専門 コース別研修	兵庫県相談支援ネ ットワーク	繫田晴美
11月24日	オンライン(ぶ ったあ福祉会)	R5 社会福祉法人研 修会	淡路市福祉総務課	伊郷真一郎
11月30日	洲本市文化体育 館会議室	食品衛生責任者養成 講習会	淡路市食品衛生協 会	古市みゆき
12月20日	淡路労働基準監 督署2階会議室	社会福祉施設におけ る労働災害防止等に かかる説明会	淡路労働基準監督 署	伊郷真一郎
12月21日	大阪府社会福祉 会館	保護者連携・家族支 援を学ぶ～心理教育 的アプローチ・ <u>ペア レントトレーニング</u> を通して～※	NPO法人医療福 祉サービス事業所 サポート機構	繫田晴美
2024年 1月28日	新淡路病院3階 会議室	第3回グングンセ ミナー(松下徹)	淡路障害者生活支 援センター	繫田晴美
1月30日	福祉のまちづく り研究所研修セ ンター	R5 サビ管更新研修	福祉のまちづくり 研究所	鈴木健
3月24日	南あわじ市広田 地区公民館	不登校ひきこもり相 談会	ソーシャルデザイ ンセンター淡路	繫田晴美
3月29日	淡路市防災あん しんセンター	R5 淡路市地域福祉 推進協議会	淡路市地域福祉推 進協議会委員	中谷勇一

※SSTとは、**Social Skills Training** (ソーシャルスキルトレーニング) の頭文字をとったもので、様々なプログラムを通して対人関係など社会生活に必要なスキルを学んでいく支援のことです。対人関係や感情コントロールなどで困難がある子供に有効とされていて、学校や児童発達支援、放課後等デイサービスなど多くの現場で取り入れられています。

※ペアレントトレーニングとは、子供とのより良い関わり方を学びながら、日常の子育ての困

りごとを解消し、楽しく子育てができるよう支援する保護者向けのプログラムです。もともとは知的障害（知的発達症）や発達障害の子供を育てる家庭向けに開発されましたが、現在は幅広い目的や方法で展開されています。

## 5. 職員状況（採用・異動）

	入職者		退職者	
	正規職員	非常勤職員	正規職員	非常勤職員
2023年 5月15日		男性1名 女性1名		
5月20日				男性1名
5月28日				女性1名
9月4日		女性1名		
2024年 2月2日		男性1名		
3月20日			男性1名	
在籍人数	9名	26名		
2024年 3月31日	内 男性8名 女性1名	内 男性7名 女性19名		

## 6. 行事・イベント状況

### 2023年

- ◆ 4月1日(土) 淡路島国営明石海峡公園「2023年春のカーニバルガーデンマルシェ祭  
～2日(日)り」販売/場所＝淡路島国営明石海峡公園芝生広場/主催＝淡路島国営明石海峡公園
- ◆ 4月14日(金) 「国営明石海峡公園・園芸福祉」
- ◆ 6月9日(金) 「国営明石海峡公園・園芸福祉」
- ◆ 6月13日(火) 石屋小学校2年生「小さな店」見学と交流
- ◆ 6月21日(水) 「すくすくフリーマーケット」(東浦子育てセンター)
- ◆ 7月14日(金) 「国営明石海峡公園・園芸福祉」福祉の庭の苗植え
- ◆ 7月23日(日) 「淡路市夏祭り」販売と参加
- ◆ 7月23日(日) 「東浦夏まつり」販売と参加
- ◆ 8月5日(土) 「岩屋盆踊り」販売と参加
- ◆ 8月27日(日) 「津名教育研究集会」
  - ・全体会＝しづかホール・講演会「発達障害があっても大丈夫～心が軽くなる関わりのコツ～」講師＝森山和泉氏
  - ・分科会＝関西看護医療大学・津名ふれあいセンター
- ◆ 9月8日(金) 「国営明石海峡公園・園芸福祉」

- ◆10月1日(日) 「淡路島国営明石海峡公園秋のカーニバル」販売
  - ◆10月1日(日) 「令和5年度国生みの島元気っ子フェスティバル」
  - ◆10月8日(日) 「東浦ふれあいまつり」販売と参加
  - ◆10月8日(日) 海峡公園秋のカーニバル
  - ◆10月14日(土) 海峡公園秋のカーニバル  
～15日(日)
  - ◆10月14日(土) 「がいな祭り」販売と参加
  - ◆10月17日(火) 「岩屋中学校ワンデートライやる」パラスポーツ 「ポッチャ」
  - ◆10月22日(日) 「第9回淡路障害者自立支援の集い～ユニバーサルスポーツ交流体験会  
～」／洲本市文化体育館／主催＝淡路障害者自立協議会
  - ◆10月22日(日) 海峡公園秋のカーニバル
  - ◆10月29日(日) 「津名福祉まつり」販売と参加
  - ◆11月 3日(金) 「鶴崎ガーデニング」  
～4日(土)
  - ◆11月10日(金) 「園芸福祉」(雨天)室内ゲーム(じゃんけんゲーム)・誕生日会
  - ◆11月11日(土) 「第14回淡路市社会福祉大会 第17回地域支援 事業市民フォーラム」／  
淡路市立サンシャインホール／淡路市地域包括支援センター
  - ◆11月18日(土) 「第15回いちのみや住民福祉まつり」販売と参加
  - ◆11月19日(日) 「兵庫ピープル」／西宮市立若竹生活文化会館
  - ◆11月19日(日) 「聖隷健康フェスタ」／聖隷淡路病院／健康啓発企画
  - ◆12月 3日(日) 「サンタクロースマラソン in 淡路」／洲本市民広場／主催＝社会福祉法  
人洲本市社会福祉協議会  
サンタクロースになって洲本の街に繰り出そう！参加する人もスタッフ  
も見ている人も、サンタさんの不思議なパワーで笑顔になるイベントで  
す。サンタクロースの格好をする以外は、特に決まりはありません。マ  
ラソンを楽しむもよし！ウォーキングを楽しむもよし！子どもから高齢  
者、障がいのある方などいろんな人たちが、一緒にイベントを楽しみな  
がら淡路島を笑顔でいっぱいにしましょう！
  - ◆12月 8日(金) 「園芸福祉」クリスマスツリー作り・お誕生日会
  - ◆12月 9日(土) 「2023年度第19回淡路市人権を考える集い」／淡路市立サンシャインホ  
ール／淡路市・淡路市教育委員会・淡路市人権教育研究協議会
  - ◆12月19日(火) 「ぶったぁクリスマス会」
  - ◆12月23日(土) 「ピープルクリスマス会」／コミスタ神戸
- 2024年
- ◆ 1月20日(土) 「2023年度障害者問題を考える兵庫県連絡会議第43回総会」／場所＝神  
戸市障害福祉センター
  - ◆ 1月23日(火) 人権セミナー「明るく生きるコツ～腹話術による面白くてためになる話  
～」／岩屋公民館(岩屋すこやかセンター)／淡路市人権教育研究協議会



#### 岩屋支部・北淡支部

- ◆ 1月27日(土)「淡路市人権シネマ」／会場：淡路市立サンシャインホール／映画「ゴードアいのうた」／共同作業所バザーコーナー
- ◆ 1月31日(水)「石小祭」／石屋小学校体育館
- ◆ 2月20日(火) 石屋小3年生と石屋小学校プレイルームにて交流
- ◆ 2月26日(月)「学童アップル合同消防避難訓練」避難訓練＋消火器の体験＋消防自動車の説明
- ◆ 3月4日(月)「小さな店」にて石屋小3年生と交流会
- ◆ 3月18日(月)「小さな店」にて石屋小3年生30名と交流会

### Ⅲ 法人が運営する事業

- ◆生活介護事業
- ◆就労継続支援B型事業
- ◆共同生活援助事業
- ◆相談支援事業

#### ◆生活介護事業

##### <事業概況>

自立した日常生活または社会生活を営む上で、支援が必要な利用者に日中活動の場を提供することを目的としながら、その中で、日常生活上の支援として、排泄及び食事の介助、創作活動又は生産活動の機会の提供、日常生活における相談を行いました。特に建物の中での支援だけではなく、本人の希望を聞きながらできるだけ外に出て体を動かしたり、社会参加の機会を作ってきました。

職員はメンバー一人一人とより良い関係を作りながら、支援をしてきました。

入院や通院の同行、薬の把握、お金の管理等、日中の職員の仕事も増えています。日々のメンバーの体調管理など課題もあります。

職員の充実とスキルアップは次年度も大きな課題です。

#### 1. 職員配置 (2024年3月現在、以下同じ)

	管理者	サビ管	看護師	生活支援員	合計
常勤職員	1	1		1	3
非常勤職員			1	9	10
合計	1	1	1	10	13

#### 2. 利用者状況

定員	登録者数	障害支援区分					
		区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
20	13			1	6	4	2

年齢別						性別	
20代	30代	40代	50代	60代	70代	男	女
1	4	3	3	1	1	11	2

	開所日数	延べ利用者	入所	退所
4月	24	282		
5月	22	267		
6月	23	290		
7月	23	279		
8月	20	230		1
9月	22	220		1
10月	26	252		
11月	22	219		
12月	22	226		
1月	20	224		
2月	21	221		
3月	22	221		
計	267	2,931	0	2

#### ◆就労継続支援B型事業

##### <事業概況>

利用するメンバーに対して、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練、その他の日常生活における相談などを行ってきました。

##### 【授産活動について】

##### ・「食堂ひとやすみ」

ホール・レジ・洗い場・料理づくり・掃除等の仕事があります。メンバーはそれぞれ得意なところを受け持ち仕事をします。

※メンバーが食堂の仕事に取り組みやすくするために、職員を3人体制にすることを考えています。そのためには食堂に対応できる職員を育てなければなりません。

##### ・「パン工房」

自主製品である食パン・菓子パン・カップケーキ・クッキー等を作ります。それぞれの工程があり、得意なところを担当しながら仕事を覚えています。

パンは主に小さな店での販売と予約注文方式をとっています。カップケーキやクッキーは、小さな店はもちろん、市内の観光施設や福祉施設等にも置かせてもらっています。

・「小さな店ぶったあ」

「花の店ぶったあ」を改築し、「小さな店ぶったあ」として出発してから2年が経ちました。お店には自主製品のパンやカップケーキ、クッキーと、駄菓子や玩具も販売しています。「ぶったあ」を知ってもらうことや地域とのつながりの場としても大事なお店です。メンバーと共に盛り上げて行きます。

・「グループホームぶったあ」の掃除

草刈りを減らした関係で、新しい仕事としてグループホーム「ここから」と「いろは」の掃除をさせてもらっています。居間・台所・居室・廊下・トイレ・ドアや窓をキレイに仕上げます。

※主に男性職員が担当します。他の仕事もそうですが、掃除も取り組む気持ちや率先してやる姿が大事です。

・「草刈り」

夏場の注文は時間のかかる所は断り、短時間でできる所だけにしています。

※無料で借りている建物等の草刈り等の管理も大事な仕事になります。→みんなの家（本部建物）の花壇と周辺・淡路市から借りている駐車場・食堂（ファミリーマート）周辺・グループホーム周辺・借りている山・レモンの木の土地

・「淡路市からの委託」

絵島の掃除と中道橋の花壇の水やりの仕事があります。岩のくぼみに長年の砂がたまって雑草が生えて来ています。草抜きやゴミ掃除と共に、少しずつ土を運び雑草が生えないよう努めています。

・「墓掃除」

件数は少ないですが、みんなで丁寧に掃除をし、お花を供え、手を合わせます。お仕事をいただいたお礼も伝えます。

・「イベントでの販売」

毎年いろんなイベントに参加し、お菓子やパン等を販売しています。出会いの場でもあり、メンバーも参加を楽しみにしています。

・「市内配達」

淡路市内の公共施設、福祉施設、会社等に「ぶったあ」のカップケーキやクッキーを置かせてもらっています。毎週木曜日に淡路市内と一部洲本市まで車で配達しています。

※配達先も減っています。今後、配達先の確保や配達の方法も変えて行く必要があるかも。

## 1. 職員配置（2024年3月現在、以下同じ）

	管理者	サビ管	作業指導員	目標工賃達成指導員	生活支援員	合計
常勤職員	1	1	1		1	4
非常勤職員				2	4	6
合計	1	1	1	2	5	10

## 2. 利用者状況

定員	登録者数	年齢別						性別	
		20代	30代	40代	50代	60代	70代	男	女
20	18	3	4	3	5	2	1	11	7

	開所日数	延べ利用者	入所	退所
4月	25	305		
5月	22	293		
6月	22	311	1	
7月	23	303		
8月	21	266		1
9月	22	317	1	
10月	24	306		
11月	22	280		
12月	21	273		
1月	20	262		
2月	21	250		
3月	22	260		
計	265	3,426	2	1

## 3. 工賃関係

		2023年度	2022年度	差額
生産活動収入	自主製品販売	9,742,706	10,712,898	△970,192
	委託事業	1,486,489	146,995	1,339,494
生産活動支出	当期仕入高	3,847,050	3,764,731	82,319
	その他	2,320,775	2,336,357	△15,582
工賃詳細	工賃総額	3,254,930	2,857,000	397,930
	延対象者数(人)	3,426	214	
	平均工賃月額	21,026	13,343	7,683

◆共同生活援助事業（グループホーム）

<事業概況>

グループホームを利用する障害者につき、主として夜間帯に、共同生活住居において入浴、排せつ及び食事等の介護、調理、洗濯及び掃除等の支援やその他の必要な日常生活上の世話を行いました。又、生活等に関する相談及び助言、就労先やその他関係機関との連絡を支援してきました。

利用者の高齢化もあり、病院に付き添う件数も増えています。通院や薬の把握、お金の管理等々、職員の仕事も増えています。職員の充実とスキルアップは来年度も大きな課題です。

大半の方が、元の家に戻るのが難しい人達です。休みの日の過ごし方など課題があります。ご支援とご協力をお願いします。

1. 職員配置

	管理者	サビ管	世話人	生活支援員	合計
常勤職員	1	1	3		5
非常勤職員			9	7	16
合計	1	1	12	7	21

2. 利用者状況

	定員	登録者数	障害支援区分					
			区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
いろは	6	4		1	2		1	
ここから	6	5			1	2	2	
歩歩	4	4			1	2	1	
合計	16	13		1	4	4	4	

	年齢別						性別	
	20代	30代	40代	50代	60代	70代	男	女
いろは	1			2		1	4	
ここから		2	2	1			4	1
歩歩				1	2	1		4
合計	1	2	2	4	2	2	8	5

◆相談支援事業

<事業概況>

地域で生活されている障害をお持ちの方やその家族の総合窓口として、相談事業を展開しています。障害福祉サービスを利用するにあたり、ご本人がどんな生活をしたいか、どのようなサービスを使いたいか、相談支援専門員がケアプランを作成しています。サービス利用開始後も定期的にサポートし、必要に応じてプランの修正や見直しを行います。

今後増加していく利用者への対応として、相談支援専門員の2人体制の配置をとることで、よりきめ細やかな支援の提供が実現できる。

### 1. 職員配置

- ・ 管理者（常勤職員） 1名
- ・ 主任相談支援専門員（常勤職員） 1名
- ・ 相談支援専門員（常勤職員） 1名

### 2. 利用者状況

	障害者	障害児	左記内新規		延合計
			障害者	障害児	
4月	18	14	1		33
5月	19	11			30
6月	12	15	1		28
7月	16	14	2	1	33
8月	23	4	1	1	29
9月	18	16			34
10月	18	10			28
11月	19	11	1		31
12月	17	14			31
1月	17	12			29
2月	16	12	1		29
3月	13	16	1		30
合計	206	149	8	2	365

## IV 2024年度に向けて

2024年障害者総合支援法における報酬改定の議論のひとつに「地域生活を実現・継続するための支援」があります。

地域で自立した生活を送るための支援体制作りの必要性として、地域生活支援拠点等の整備や推進、地域移行を促進するための方策が検討されてるそうです。また、グループホームを利用している人の一人暮らし等の希望の実現や支援の実態に応じた適切な評価なども検討中らしいです。

私達は、改定にかかわらず、今までも、これからも障がいのある人が自ら望む地域生活を

営むことができるよう、支援の一層の充実を目指したいと考えます。

生活の場としての「共同生活援助」、日中の活動の場としての「生活介護事業」、仕事の場としての「就労継続支援B型事業」、相談先として「相談支援事業」。それぞれの事業の安定のためにも、利用する人達に対し、ていねいな対応と信頼を得るための行動が問われます。

新しい人材の確保と共に、個々のスキルアップも重要です。そのためには、研修等に積極的に参加できる環境が必要になります。

2024年度も「共に生きる社会」を目指して行動して行きましょう。